

昨夏、リニューアルオープンした、いきものの里ふれあいプラザがオオムラサキ館で、3月13日午後18時30分から開催する、アイヌ料理に関する、第88回のふれあいトークのご案内をします。どなたでも、お気軽にご参加下さい。

「自然と人がなかよく暮らしていくための栗山の自然・歴史・産業・生活文化講座」

耳よりな話と楽しい語らいのゆうべ「第88回ふれあいトーク」のご案内

アイヌ文化講座 「アイヌ料理を

つくる！ 食べる！ 学ぶ！」

講師 帯広カムイトウウポポ保存会

酒井 奈々子さん 安東 春江さん

＜前座＞ 栗山周辺のアイヌ民族の衣食住にかかる地名 高橋 慎（松風4丁目）

日時 **3月13日(水) 18時00分～20時30分**

場所 栗山町ふるさといきものの里オオムラサキ館
(桜丘2丁目38番地-5、電話 0123-72-3000)

内容 帯広カムイトウウポポ保存会の会長と副会長をされている酒井奈々子さんと安東春江さんをお招きし、アイヌ料理の講座を行います。アイヌ民族に伝わる伝統料理である、ポネオハウやイナキビご飯、ムニシトなどを実際に調理してもらい、参加される皆さんと一緒に、つくり食べながら、自然界にある食料にたいする考え方や保存方法、おいしく食べる調理の仕方を学びます。導入の前座として、栗山周辺に残る衣食住にかかわるアイヌ語地名を事務局長の高橋慎が紹介します。

今回の企画は、栗山小学校や栗山中学校でそれぞれ11月と2月にアイヌ文化の授業の講師をしていただいたアイヌ民族文化の伝承グループの「フンペシスターズ」原田公久枝さんや川上恵さんが、帯広で学んだカムイトウウポポ保存会の酒井さんと安東さんを紹介していただき実現しました。

またとない機会、たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。

ホットコーナー アイヌ民族の伝統料理 参加費 300円

主催 栗山オオムラサキの会

※ 政府は2月15日、アイヌ民族の誇りを尊重し共生社会を目指すことを目的とした、アイヌ民族に関する新法案を閣議決定しました。法律として初めてアイヌ民族を「先住民族」と位置付け、差別や権利侵害を禁ずる基本理念を明記しています。やっと、実現に向かっていきます。